

# とちぎ米産地だより【4月号】

<24年産のとちぎ米に関する情報をいち早くお届けします！>

第1号 平成24年4月25日  
発行責任者:JA全農とちぎ 米穀課

## 1. 24年産米の課題克服に向けた2つの対策

### 1 放射性物質対策

**放射性物質ゼロを目指し、以下の対策を徹底します！**

- 加里肥料の施用と、15cm以上の深耕で放射性物質の吸収を抑制します。
- 倒伏をなくし、適期刈り取りにより、稲に泥を付着させません。

### 2 食味・品質維持向上対策

**胴割粒、着色粒をなくし、食味・品質の向上を目指します！**

- 耕深の確保、土壌改良資材(ひとふりくんプレミア等)の施用により、根張りを良くし、元気な稲を育成します。
- 適正な施肥により、養分過多や不足をなくし、良質なお米を育成します。
- 出穂前後の草刈りと、適期防除によりカメムシの被害を防ぎ、着色粒の発生を抑制します。
- 早期落水防止と適期刈り取りにより、胴割粒発生を抑制します。
- 玄米水分14.5%を目標にした適正な乾燥により過乾燥・高水分米を防止します。
- 胴割粒・白未熟粒による2等以下の玄米出荷者には『イエローカード』を発行し、栽培改善を進めます。

## 2. とちぎ米生長日記

栃木県では現在育苗期を迎えています。

たっぷりと吸水させ、芽を出す準備が出来た種籾を育苗箱(苗を育てるためのプランター)に播き、現在は右の写真のように、青々とした苗が育っています。育苗中も病害虫の被害が出ないように丁寧に育てています。

**JAグループ栃木のJA米は、信頼の種子更新率100%です！！**



## 3. 県北地区なすひかり 2年連続食味ランキング特A取得！

日本穀物検定協会が実施する米の食味ランキングにおいて、平成23年産・栃木県産・県北地区なすひかりが、平成22年産に引き続き、2年連続の最高評価『特A』を取得しました。

食味ランキングとは、毎年全国から集まる産地・品種について、20人の専門家が白飯の外観、香り、味、粘り、硬さ、総合評価の6項目を、同協会の基準米と比較して評価し、ランキングに取りまとめ、発表しているものです。評価は特AからB'までの5段階で、平成23年産では129産地品種が評価され、特Aを取得できたのはわずか26産地品種です。



# とちぎコシヒカリの新キャラクター 『ほのかちゃん』を紹介します！

## 新キャラクター、ほのかちゃん！

ほのかちゃんは、  
まるでお花のように稲穂を愛する女の子。  
ほのかちゃんの散歩道は、田んぼ道。  
毎日田んぼを眺めて、稲とお話しをします。  
ほのかちゃんは、田んぼの色が大好き。  
小さな苗から、たわわに実る稲穂になるまで、  
田んぼには、たくさんの色があります。  
チョコレート色の土、  
お日様の光に透けた稲の葉の黄緑、  
そして一番好きなのが、黄金色の稲穂。  
稲刈りの時には、毎年、稲穂をもらい、  
大切に大切にその稲穂をおうちに持ち帰り、  
お花のように飾ります。



コシヒカリでは全国第3位の生産量を誇る「とちぎコシヒカリ」。  
首都圏では“お手ごろ価格でおいしい”と、  
とちぎ米は人気！

寒さに強く、食味が極めて良好な品種で、  
栃木県では県北から県中部を中心に広く栽培されています。

また、栃木県産コシヒカリ「穂の香」は、  
パッケージデザインを一新しました。  
栃木県在住の新進女性イラストレーター  
増淵芽久美さんによるキャラクター、  
ほのかちゃんが登場です。

### ※ 問合せ先 ※

◆内容に関する、ご意見、ご質問、ご感想も、是非、お寄せください。  
JA全農とちぎ 米穀課 電話:028-626-2174 FAX:028-621-2037